

## 次号予告

### 特集 スポーツとモデリング

- W杯地域出場枠の競争的配分……………中村義人, 田村 亮, 関谷和之 (静岡大学)  
サッカーのペナルティキックの最適戦略……………太田雄大, 鈴木敦夫 (南山大学)  
マルコフモデルを用いたフットサルの試合分析  
……………小池光太郎, 田口 東 (中央大学)  
ハンドボールへのマルコフモデルの適用  
……………上田 徹, 佐藤 啓 (成蹊大学), 廣津義信 (順天堂大学)  
ランチェスターモデルによる棒倒し競技の研究……………小宮 亨, 牧 正人 (防衛大学校)  
AHPを用いた柔道選手の強さの推定……………木下栄蔵 (名城大学)

### 編集後記

- 「食料問題とOR」は関西支部で5月号の特集を担当するようになって2回目の企画である。前回の「企業経営とトレーサビリティ」に続いてこの問題も日本の将来にとって大事なことであり、ORの適用あるいは研究対象としても将来性のあるテーマである。また、OR学会が社会に提言していく格好の題材でもある。安心安全という若干前回と重なる部分もあるこのテーマに決まったのは、関西を中心に行ってきた関連の研究会「食糧環境問題とOR」を私が、その後続の「食料・環境問題における数理的手法」を伊藤氏が主査をしていた関係である。おりしもアメリカから背骨付き牛肉が到着したときでもあった。
- OR学会では南石氏のグループ以外はこの辺りの研

究者がおらず執筆者を探すのに苦労したが、逆に多様な方に多様な話題で書いて頂けることになった。調理師の方、栄養士の方、農事組合の方、日本が誇る即席麺の会社など多彩な顔ぶれであり、読み物としても面白いものになったのではないかと自負している。関西の方に少し偏ったかもしれないが、関西支部の企画ということでお許し願いたい。ただ水産関係の話題がなくなったのは残念で、鮪の養殖、黒鮪の資源枯渇(?)、捕鯨の禁止の問題など日本の水産業の問題は深刻であり、OR学会として取り上げる必要がある。このように書く私が1人で何でもやったように思われるかもしれないが、関西支部編集委員の方々と南石先生におんぶにだっこの結果である。(石井博昭)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 中森真理雄 (東京農工大学)

関西支部編集委員長 野村淳二 (松下電工(株))

関西支部編集委員 石井博昭 (大阪大学), 乾口雅弘 (大阪大学), 大村雄史 (近畿大学), 岡本正昭 (宝塚造形芸術大学), 栗尾 孝 (松下電工(株)) 澤田一哉 (松下電工(株)), 塩出省吾 (神戸学院大学), 能勢豊一 (大阪工業大学), 見市 晃 (追手門学院大学), 毛利進太郎 (神戸学院大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成 18 年 5 月号 第 51 卷 第 5 号 通巻 545 号

代表者 今野 浩

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 中森 真理雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税込)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ